

私立大学情報教育協会
平成29年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

B-1班 M4Ki20I7

B-1班 M4Ki20I7の紹介

メンバーの頭文字

M

M

M

M

K

I

M4Ki

(エムフォーケーアイ)

+

2017年

↓

初日の勉強を
踏まえて...

↓

20I7

(ニセンアイナナ)

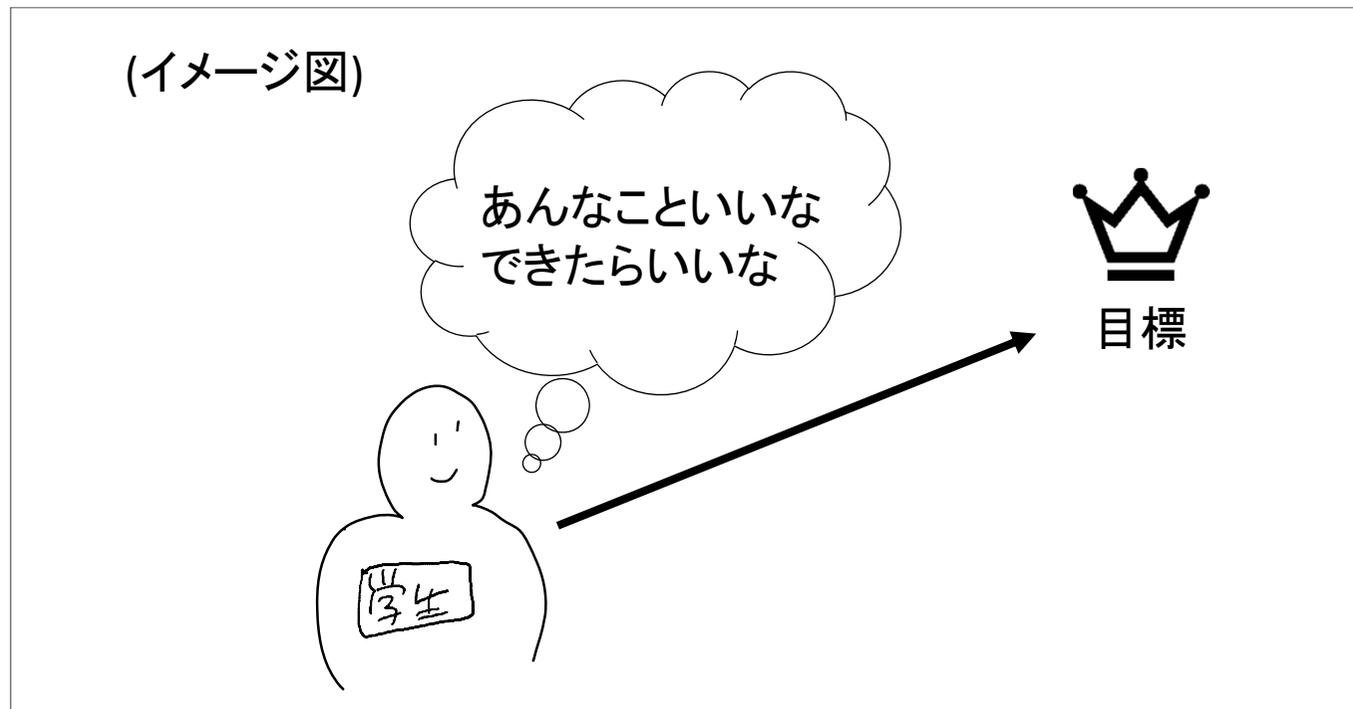
B-1発表テーマ

「学生よ、大学職員を使い倒せ！」

～頼られる職員になるために～



大学職員を「使い倒す」とは・・・(1)



目標を達成させる事ができる学生を増やしたい

その為に、学生が必要とする知識やスキルを取得した職員がサポートする

大学職員を「使い倒す」とは・・・(2)

教学部門に所属している職員が目指すべき指標

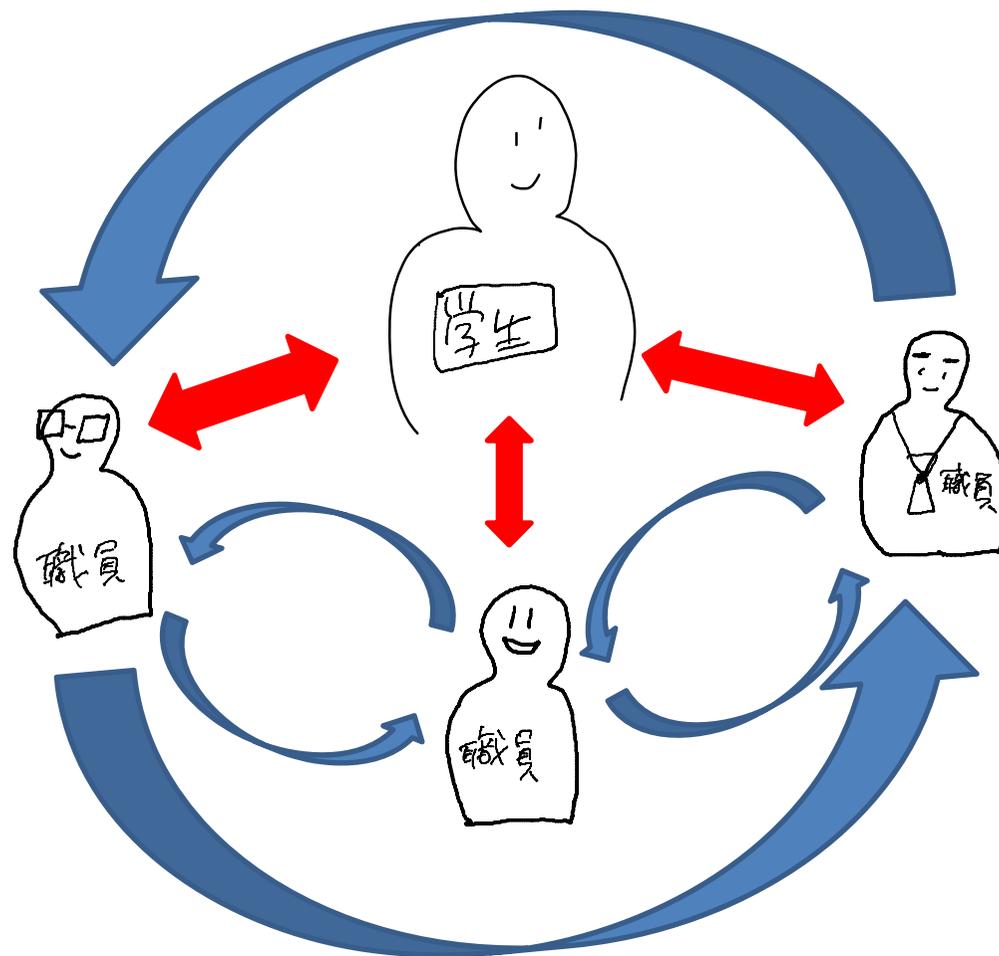
「学生が4年間でいかに大学を活用し、自己成長するか」

学生が充実した大学生活を送るために、大学職員を頼ってもらいたい



大学職員という存在を「使い倒して」ほしい

こんな感じでサポートしたい(案)



現状は？

実際、我々は「使い倒して」もらえるだけの スキルや信頼を得た大学職員なのか？

思い返してみれば.....

- ・窓口に来た学生に対して「その件は他部署の担当だから」とたらい回しに
- ・経験が浅く、自分の知識に自信がないため、はっきりとした対応ができない

なぜこのような現状が生まれたのか？

原因

情報共有の不足！！

- ① 部署内での情報共有・連携がとれていない
- ② 他部署との情報共有・連携がとれていない

etc...

→ 同一の学生の対応にズレ・行き違いが生じてしまっている

原因①

部署内での情報共有・連携がとれていない

- (例) 管理職会議の資料や議事録が、紙媒体だと回覧に時間がかかる
会議の内容に関する説明がないため、背景がわからない
業務が縦割り化しており、他の職員の業務を把握できない
引き継ぎ書の更新がされておらず、情報が古いため業務内容の理解に時間を要する

原因②

他部署との情報共有・連携がとれていない

- (例) 各部署のスケジュール・業務について把握ができていない
 - 業務依頼・連携をするタイミングが計りにくい
 - 業務の担当者がわかならい
 - 職員間の連携意識が希薄

原因

情報共有の不足！！

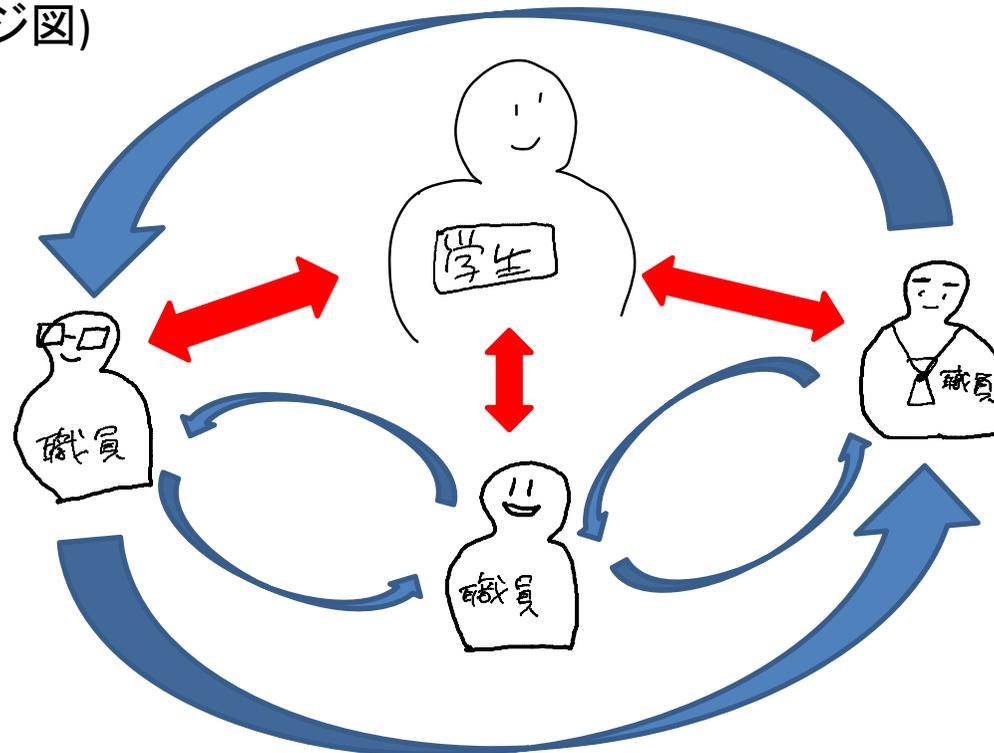
- ① 部署内での情報共有・連携がとれていない
- ② 他部署との情報共有・連携がとれていない etc...
→ 同一の学生の対応にズレ・行き違いが生じる



大学全体で情報を参照・利用できるような体制が必要
(学生を複数の部署でたらい回しにするような現状を無くす)

一人の学生を複数の職員(面)でサポートする体制を整える

(イメージ図)



複数の部署で連携し情報を共有する
→多角的な視点を以って学生を指導・サポートする

解決方法～まずはここから～

◇職員が利用するポータルサイトのコンテンツを充実させる

- ・会議などの資料
- ・文部科学省答申
- ・年次計画書(事業計画書)

- ・職員が参加した研修の報告書
- ・各種規程

etc...

ICTを活用する以外にも・・・

◇他部署の職員と積極的にコミュニケーションをとる

大学全体で情報を共有し、相互に利用できる体制を構築し
職員同士の交流の活性化に繋げる



日頃の業務をより幅広い視野で捉え、取り組むきっかけに

ご清聴ありがとうございました！

